



空から見た躍進する勝山市



勝山市議会議長

石田 己代治

この市からの市政のポイントは優れた環境のもとで、豊かな市民生活が営めるようあらゆる英知を結集し、最善の努力を尽すことにあると思っております。

恵まれた自然を生かしつつ、産業の振興をも図るべく一層精進いたします所存でありますので、この上ともみなさんの理解あるご協力を切にお願い申し上げます。

市民のみなさん、わが勝山市はことし市制施行二十周年にあたります。人間であれば、はたはち、つまり成人となる訳です。

頼みますと、昭和二十九年九月一日一町八か村が大同合併した時は、看板だけは市に書き替えたものの、中味までは一挙に伴うものではなく、財政的には急迫を告げ、また、行政的にも存分の体制とは言えず、次から次へと寄せられるみなさんからの数々のご要望には、なかなかお応えの出来ない何とも苦しい状況でした。

しかし、そうした中で唯一つ冬のブルドーザーによる道路の除雪だけは、当時市民の多くの方々から大変喜ばれたことを今更ながら思い出されます。

そのような勝山市が早くも二十年の歳月を経て、いよいよ一人前に達した訳で、この間、歴代の当局者、そして先輩各位をはじめ市民のみなさん方それぞれの非常なご尽力と市政に対する積極的なご協力とによって、今日の進展を見ることが出来ましたことは、誠に喜びに堪えません。

これは一つには、日本の高度経済成長が少なからず寄与しているかとも考えられるのですが、その高度経済成長も近年はいかんとせん裏目が強く出て、公害の発生やインフレの助長という憂慮すべき結果を招いております。

この市からの市政のポイントは優れた環境のもとで、豊かな市民生活が営めるようあらゆる英知を結集し、最善の努力を尽すことにあると思っております。

恵まれた自然を生かしつつ、産業の振興をも図るべく一層精進いたします所存でありますので、この上ともみなさんの理解あるご協力を切にお願い申し上げます。

市制二十周年を祝って

勝山市長

高野 春三



わが勝山市は、昭和二十九年九月一日旧勝山町など一町八か村が合併、県下で六番目の都市として誕生、ことし市制施行二十周年を迎えました。

まことにご同慶に堪えません。人間に例えて申しますならば、晴れて成人になったといえましょう。

思い起せば、この二十年という歳月は決して順風満帆という訳ではありませんでした。

市制を施行したというものの財政は急迫し、行政体制も十分とはいえないなかを諸先輩をはじめ市民のみなさんの地方自治に寄せられる熱意と努力は、一歩一歩勝山市の基礎を築いてこられました。

しかし、昭和三十四年の伊勢湾台風、三十八年の豪雪、四十年の風水害など度重なる大災害に見舞われ、財政再建等苦難の連続でありました。勝山市民のねばり強さと市政に対する惜しまないご協力が見事、これらの試練を乗り越え、学校建設、道路整備、環境衛生施設の整備、上水道建設、土地区画整備、圃場整備等々と近代都市づくりがすすんでおりますことは、これひとえに市民のみなさんをはじめ関係各位のご理解とご協力の賜ものと深く感謝申し上げる次第であります。

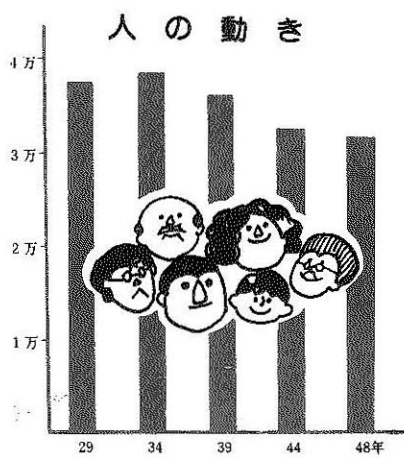
この記念すべき二十周年を契機といたし、誰もが住みたくなる勝山の実現めざして、恵まれた緑と水を生かし、市民総参加の市政を運営して参りたい所存であります。

市民のみなさんには一層のご理解とご協力を願って止みません。

わがまち

- 昭和29年** 市制施行（1町8ヶ村合併、県下6番目）
初代市長に山内継喜氏当選
野向小学校焼失
- 昭和30年** 市制祝賀行事行う
初の市議会議員選挙（小選挙区制）
野向小学校復旧工事完了
平泉寺白山園定公園になる
平泉寺公民館完成
- 昭和31年** 財政再建団体の指定うける
平泉寺中学校校舎完成
雁ヶ原スキー場開設
- 昭和32年** 北郷東・西幼稚園開園
北部中学校開校（初の統合中学）
中央乳児保育所開所
原山スキー場開設
- 昭和33年** 市役所庁舎完成
市体育協会文部大臣賞をうける
2代目市長に山内継喜氏再選
上水道工事に着手
壁倉発電所完成
鹿谷幼稚園開園
- 昭和34年** 市議会議員選挙
伊勢湾台風による被害5億5000万円
- 昭和35年** この年から成人式が市一本で行われる
- 昭和36年** 市民課が設置され、窓口事務のスピード化をはかる
市内初の鉄筋校舎勝中本館完成
雁ヶ原スキー場にリフトできる
- 昭和37年** 市内初のプールできる
勝山電報電話局舎完成 電話ダイヤル自動化となる
市有林植林100万本達成記念碑たてる
3代目市長に山内謙氏当選
消防署庁舎完成
財政再建計画完了
白山国立公園に昇格
- 昭和38年** 38.1豪雪で死者16人被害額10億円を超える
南保育所改築工事完成
勝山橋完成
新しい勝山総合病院完成 診療を開始する
遅羽公民館完成
市上水道建設事業竣工
沢交差点に信号機お目見え
市議会議員選挙
平泉寺、野向幼稚園開園
低開発地域工業開発地区の指定うける
伝染病かくり病舎完成
奥越高原県立公園となる
- 昭和39年** 市消防団消防庁長官賞をうける
市総合都市計画きまる
12年をかけた勝山新大用水完成
北郷小学校統合校舎完成
市衛生処理場完成、操業を開始
農業構造改善事業はじまる
- 昭和40年** 県営滝波川発電所完成 営業運転に入る

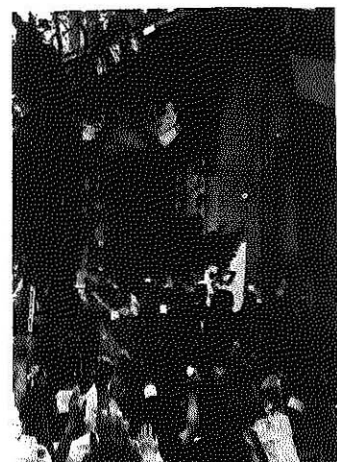
市の人口は、市発足当時三万七千四百六十三人でしたが、都市化現象が当市に過疎の波をもたらし、四十年ころから急激に減りはじめ、四十四年には遂に三万二千台になり現在に至っています。



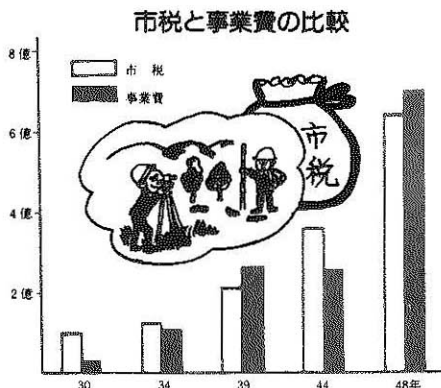
世帯数を調べてみますと人口が減ったにもかかわらずあまり変動がないようです。これは核家族化現象によるものと考えられ、これからもこの現象は続くものと思われま



見る20年

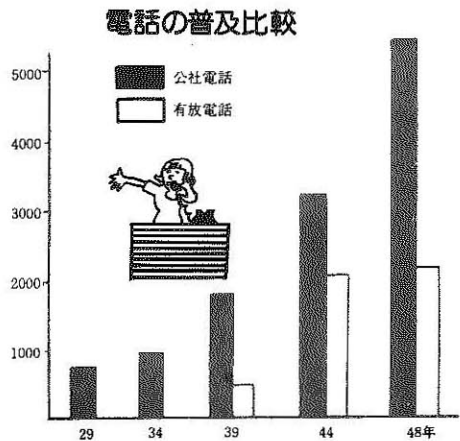


かかったとも言えるのではな
り変りをいくつかとらえグラ
ことは「くらし」が豊かにな



市税の伸びと事業費の伸びを比較してみました。昭和三十年の市税が一億四百九十九万円で事業費が三千二十万円で市税の三分の一しか事業費がありませんでした。昨年は市税六億五千九百九十四万に對し、七億八百八十万円、市税の一・〇九倍の事業費が使われたのです。これからは事業費が伸びていくでしょう。

テレビの普及は東京オリンピックを契機に驚異的に伸び、全世帯の九〇・二％、市発足当時二台しかなかったのですが、二十一年間に三千四百三十一倍となっています。正に情報時代といえます。



電話の普及率を調べてみました。公社電話は三十七年ダイヤル自動化により急激に普及、四十八年には北郷局が自動化されました。一方、有線放送電話も四十二年に市内一円化されました。公社電話の普及率は市発足当時の七八・二六倍となっています。

市の施設などのあらまし

- 幼稚園 (うち設備九)
- 小学校 (うち設備一〇)
- 中学校 (うち設備四)
- 公民館 (うち設備二)
- 市民会館 (うち設備一)
- 診療所 (うち設備五)
- 保育所 (うち設備一)
- 衛生処理場 (うち設備一)
- じん芥焼却場 (うち設備一)
- 大運動場 (うち設備一)
- 学校プール (うち設備八)
- 社会体育施設 (うち設備一)
- 体育館 (うち設備一)

第23回国体勝山市準備委員会発足
40.9風水害で18億円の被害でる
農業センター完成

昭和41年
猪野瀬公民館完成
交通安全都市宣言
県道福井一勝山線舗装工事竣工
市営火葬場完成
青少年愛護都市宣言
新住居表示実施
旧成器堂などを市文化財に指定
4代目市長に山内謙氏再選
成器南幼稚園開園
荒土公民館完成

昭和42年
勝山有線放送が誕生
中部中学校開校
市民会館完成
高校総体ソフトボール大会開催される
全日本実業団バドミントン大会開催される
大選挙区制初の市議会議員選挙
村岡幼稚園統合開園

昭和43年
野向公民館完成
新じん芥焼却場完成
第23回国体が開かれソフトボール（高校女子）
バドミントン、クレー射撃、山岳の4種目が
行われた
財政再建団体の指定をうける
市荒川大橋完成

昭和44年
小原大幹線林道着工
レントゲン車「九頭竜」号を購入
NHK「ふるさとの歌まつり」勝山市で開催
される
北保育所完成

昭和45年
下荒井橋と下荒井トンネルが完成
市有林が林野庁長官賞をうける
鹿谷小学校校舎（鉄筋）改築
野向公民館完成
左義長まつり郷土芸能代表として万国博覧会
に出演
5代目市長に高野春三氏当選
勝山の歴史を発刊

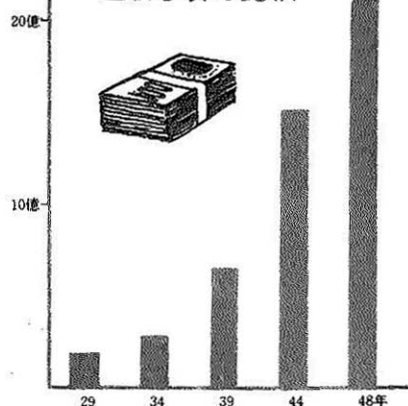
昭和46年
成器北幼稚園完成、開園
奥越高原牧場開場
南部土地区画整理事業に着手
市議会議員選挙
女神川防災工事完成
奥越老人センター平泉寺荘完成
成器南小芳野ヶ原分校開校
勤労青少年体育センター完成

昭和47年
三宗小学校校舎（鉄筋）完成
大野・勝山地区広域市町村圏基本構想・基本
計画・実施計画まとまる
新用途地域指定
谷トンネル（国道157号）開通

昭和48年
法恩寺大幹線林道着工
上後土地区画整理事業に着手
平泉寺幼稚園完成
平泉寺にOL永久コースを設置
昭和町宅地造成事業完成
環境保全条例制定される

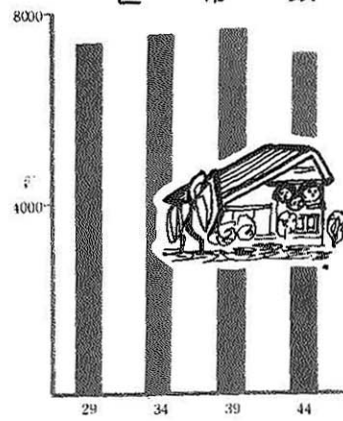
昭和49年
南部中学校開校、中学校統合計画完了
第4回日本都市青年会議開催される
北部土地区画整理事業完了
選挙公報に関する条例制定される
第18回中日本総合ソフトボール大会開催される
市制20周年記念行事行う

当初予算の比較

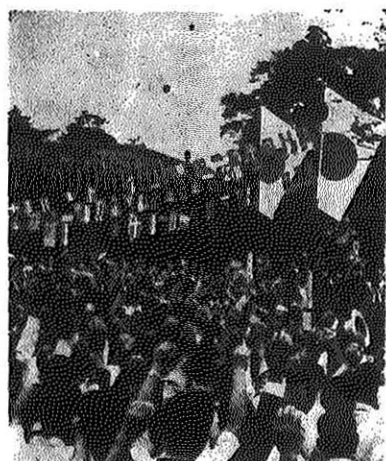


市の予算（一般会計当初予算）規模の移り変りを五年ごと
に比較してみました。ことしの予算は市発足当時の予
算一億八千五百二十九万円の十一・五一倍にもなってい
ます。

世帯数

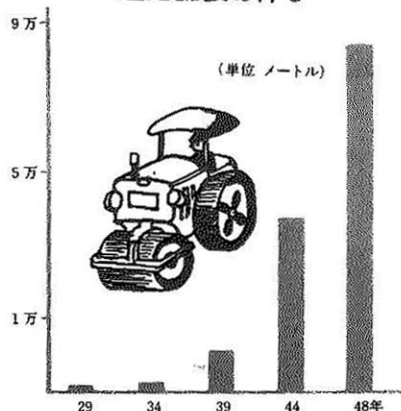


グラフで見



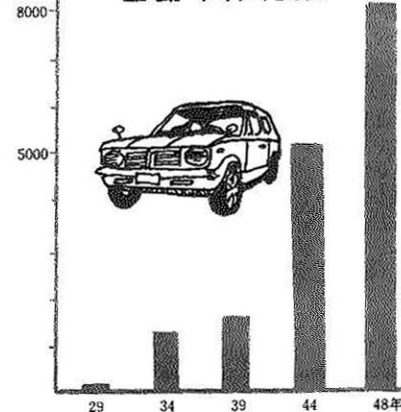
20年という歳月は長いようで短
いでしょうか。この時の流れの彩
フにしてみました。そして感じる
ったということです。

道路舗装の伸び



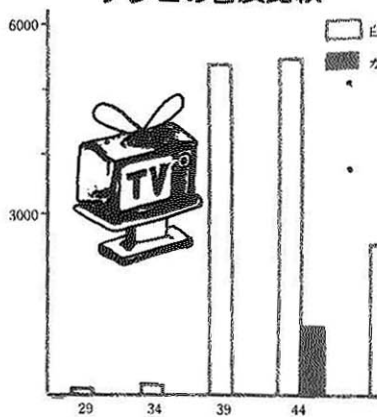
市道の舗装の伸びを調べてみました。市発足当時はな
んと八百四十メートルだったのが、四十八年度末には八万六千
百七十七メートルとなり、二十年の間に一〇二・五倍になりまし
た。ほかに国・県道の舗装も順調に伸びているので市内
の幹線道路はほとんど舗装されたわけです。

自動車保有数



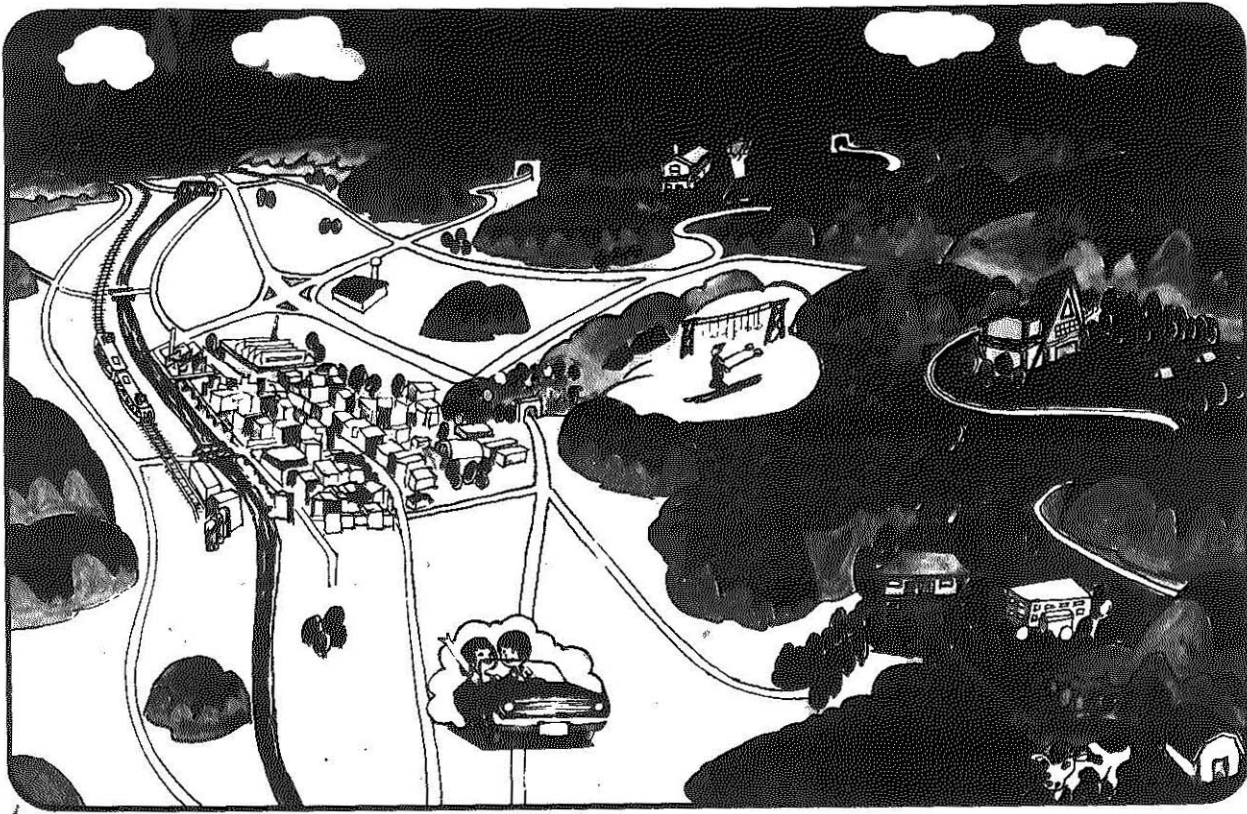
モーターリゼーションの発達はわたしたちに、スピード
と便利さを与えてくれました。市発足当時の市内の自動
車（乗用・貨物・乗合・特殊車両・軽四）の保有台数は、
六十九台でしたが、現在はその一一・六・六倍の八千四十
四台になっています。

テレビの普及比較



● 市有地 一〇六、四四一
● 市有林 一六、四〇〇
● 市有池 一、二〇〇
● 市有川 一、二〇〇
● 市有山 一、二〇〇
● 市有谷 一、二〇〇
● 市有原 一、二〇〇
● 市有野 一、二〇〇
● 市有原野など 七三、二ヘクタール

明日にたくましくはばたくまち



緑と水のゆたかな活気あふれるまち勝山。
ここに住民のたくましくはばり強さ、そして明るさが幾多の苦難をもとせず打ち勝ってきた。
いま、市制施行二十周年を迎え、過ぎし歳月を振りかえり、そして新しい出発へはばたこうとしています。

市制施行以来、わたしたちのまちは大きく変わりました。市内のほとんどの幹線道路は舗装され、学校も逐次鉄筋化されつつあります。特に幼児教育の重要性から幼稚園が増設され保護者の要望にこたえています。中学校統合計画も今春南部中学校の開校によりめでたく完了しました。教育施設、設備の整備に力を注いでいます。

土地区画整理事業がすすむに従い新しい町が出来、近代都市へ一歩一歩近づいていることはたのしい限りであります。一方、農業振興をはかるための土地整備事業も市内各地で行われており、農業の大型化時代が到来したといえるでしょう。

福祉面では、老人医療の無料化、零歳児の医療無料化、児童手当など福祉の高度化に努力しております。また、宿願の仮称教育福祉センターも来年度からいよいよ着工するメドがたち、いま、各関係者のご意見をお聞きしているところで、真に市民のための施設となるよう検討を加えております。

昨年、勝山市総合振興計画が策定され、この計画に従って未来の勝山を夢に描き、一歩一歩その実現にむかっています。なんとしても、わたしたちのまちは豊かな自然に恵まれていることです。これはわたしたち市民が最も誇りととるところではないでしょうか。

この自然を破壊することなく調和を保ちながら開発したら素晴らしい保養とレクリエーション基地が生まれます。法恩寺大幹線林道はまさに山をひらく道路となるでしょう。

法恩寺山麓の高原一帯は保養村として、家族が自然の中で活力を取り戻せる絶好の場所になります。雁ヶ原から遊歩道歩いて芳野ヶ原高原へのハイキングコースは、若者たちの人气的になることは確実、この大自然を守り育て、利用することこそ今後の勝山市の課題ではないでしょうか。

整理された園場に大型バンダーが黄金の稲穂を刈り取って行く、騒音防止設備が完備した工場で世界の織物が生産され、ショッピングを楽しむ人たちが町を行く、市民総合運動公園ではスポーツを楽しむ市民があふれる。市民会館、教育福祉センターでは音楽を芸能を。

決して夢ではありません。近い将来の勝山のすがたなのです。
この恵まれたまちに住む三万二千の市民が力を合わせ、未来にむかって腕を組み「わがまちをどうするか」を真剣に考えていくことこそ夢が実現に近づいていくのです。
勝山人特有のたくましくはばり強さ、そして明るさでこの夢を夢として終わらせまいでしょう。

市制二十周年表彰者

- 〈感謝状〉
山内 謙 (猪野毛屋)
〈表彰〉
天立 満 (元町一丁目)
小林 広 (北郷町志比原)
玉木 透 (荒土町松ヶ崎)
竹田 栄 (本町一丁目)
森下喜代志 (栄町四丁目)
上山 武雄 (平泉寺町大渡)
梅田 岡英 (元町一丁目)
藤原 謙 (北郷町東野)
北川喜代治 (沢町二丁目)
岩見よしの (鹿谷町保田)
西出 巖 (野向町聖丸)

昭和四十九年度表彰者

- 〈感謝状〉
成器西小学校PTA
成器南小学校簡易保険組合
林基左エ門 (栄町四丁目)
〈表彰〉
藤木長兵衛 (猪野口)
山川 金太 (本町二丁目)
谷 由夫 (本町二丁目)
中村 季二 (平泉寺町平泉寺)
藤井 寛治 (野向町聖丸)
比良野 照 (野向町竜谷)
牧野 義一 (鹿谷町保田)
原田 益滋 (荒土町細野)
澤瀬 徳松 (野向町深谷)
福田ひと美 (平泉寺町大渡)

永年勤続納税組合長

- (十ヶ年以上)
中央同志 清水 進
立石 高須 基七
上袋 田 勝浦 義雄
勝山 北 山口 与作
芳野 野 油谷 基一
丸の内 南部 久信
酒 坂 久保 直正
伊知地第一 高野 新一
坂東島 川村 与門
伊知地第二 仲谷 佐左エ門
北郷織物 近藤 平之助
立川 留田 三之助

「私の考える勝山市の未来像」論文入賞者

- 最優秀 該当なし
優秀 「はばたけ勝山市」

あすなろ会 (北谷小学校内)

- 石畝弘之・中村伝一郎
安岡明治
『勝山市の未来像』
大平松三 (栄町四丁目)
佳作
『わたしの考える勝山市の未来像』
『若い星』
徳田輝夫 (本町四丁目)
『私の考える勝山の未来像』
『努力しなければならぬこと』
平泉トミエ (昭和町二丁目)
『私の考える勝山の未来像』

晴れの受賞者

(敬称略)

- 〇中学生の部
田名部修司 (南部中二年)
山 範男 (片瀬)
優秀
〇小学生の部
大森隆一郎 (成器西小六年)
黒田 敏久 ()
門 和子 (村岡小五年)
前田 穂一 ()
浦島 弥生 (成器西小四年)
高柳 明子 ()
〇中学生の部
山本 秀典 (中部中三年)
小谷ますみ ()
稲木 明浩 (南部中二年)
松原 郁美 (中部中二年)
山内 紀臣 (北部中一年)
岩佐 圭子 (中部中一年)
〇高校生・一般の部
木船茂太郎 (旭町二丁目)
フロンティアズ・メン (グループ)
佳作
〇小学生の部
山内 克浩 (鹿谷小六年)
友安 尚之 (成器西小六年)
藤原 昭子 ()
石田 君子 (鹿谷小六年)
長谷川久美江 (鹿谷小五年)
竹内みゆき (村岡小五年)
前川 清幸 ()
山本 洋子 (北郷小五年)
門てるゆき (村岡小四年)
永井美弥子 (成器西小四年)
広田 俊哉 (成器西小四年)
尾田らさ ()
〇中学生の部
田村真由美 (南部中三年)
半田 和美 (中部中三年)
福田 公子 ()
堤山 瑠璃 ()
尾崎美津子 ()
尾崎 健史 (中部中二年)
江守 恒行 (南部中二年)
藤沢美代子 (中部中二年)
山口 公子 ()
小山 延子 (北部中一年)
前川 哲弥 (中部中一年)
浅井 富子 ()
〇高校生・一般の部
高松生一 ()
石川朝紀雄 (元町二丁目)
上山美智代 (勝高三年)
前田まさえ (勝高一年)